

No015



2024/12/31

農とみどり通信

12月号



発行：NPO法人 せたがや喜多見 農とみどり

最近の出来事 1/4



次大夫堀公園の今(12月24日 13時30分)
10月18日に植え替えをした次大夫堀公園の駐車場にある花壇です。とても目につきやすい場所にあります。(鶴見)

<みどりと花いっぱい協定とは>世田谷区HPからの抜粋。区と区民グループ(以下、グループ)が結ぶ協定です。協定を結ぶと、区から花苗等の資材の配布を年2回受けられます。
※グループ：世田谷区内に在住または在勤または在学している、世帯の異なる3名以上
草花の植付け、水遣り、草むしり、樹木の手入れなど、活動報告(1回/年)の提出。



細長アキチ お花栽培 今のひとコマ

コスモスは30cm以上に成長し、緑色の爽やかな茎が綺麗です。所々に大きな花芽をつけていますが、これからの寒さが心配です。
さて、花壇の拡張が決定し、落ち葉と土入れました。現在栽培計画を準備しています。開花期間が長く、手入れのしやすい花についてアドバイスを頂けると嬉しいです。また、花を引き立てるグリーンも一緒に教えていただけます。(涌井)



喜多見5丁目赤道 今のひとコマ

最近お目見えた鳥の巣箱の看板「すずめ食堂—カラスシェルター」です。近くに住む中山さん(会員の田島さんの友人)の作品です。「飼い主さん、ここでぞうにパンをさせないで」の作者でもあります! 細長アキチにも、「この先、ぞうの通り抜けできません」看板を。
気持ちをほっこりさせるさ作品、中山さんのお人柄が出ています。皆さん、作品もありますよ! 5丁目赤道、細長アキチに足を運んでご覧下さい。ほっこりしますよ!(笹)



東山野ひろば階段脇花壇 のひとコマ

18日。コスモスはお花を増やしていました。よくある花一面コスモスという具合にはなりませんでした、なにがいけないのか、お花の栽培は難しい。（田島）

19日 野菜の苗、階段野菜側（笹）

細長アキチ 野菜栽培 今のひとコマ

冬本番になりました。寒い日がつづいています。置いてあるバケツの水が凍って薄い氷がはったり、霜柱が立ちました。

綿）ようやく綿の実が割れてくれました。左側の紫色した大きな綿の実はまだ爆ぜてはいませんが亀裂が入って皮の下の白い綿が見えるようになりました。もう少しすればきれいな綿が取れるようになるでしょう。

野菜）ブロック塀の北側の奥に色々なサイズの丸いフェルトプランターで栽培しています。

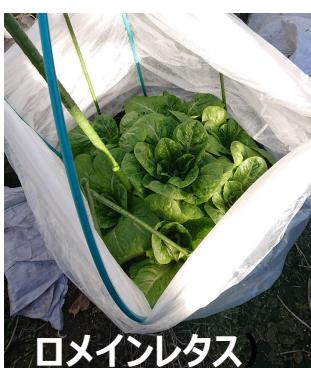
ロメインレタス、アレッタ(新種の茎ブロッコリー)、ルッコラ、パクチ、小カブをフェルトプランターに防寒の為チューブ状の不織布と120Lや150Lの透明なビニール袋を底を抜いてチューブ状にした物を被せて栽培をしています。

日が当たると結構ビニールの中が暖かく順調です。ルッコラ、小カブは調子が悪いようです。アレッタは収穫にもう少し掛かりそうですがロメインレタスは次回のづくり市で販売出来るかもしれません。

(磯谷)



フェルトプランターに防寒の為チューブ状の不織布



アレッタ



パクチー

次大夫堀公園 横断歩道横のプランター のひとコマ 「 3代目、野菜のお花 ! 」

次大夫堀公園民家園の駐車場の入り口の花壇と、他2ヶ所にあるプランターは、世田谷区 みどり33推進担当 みどり政策課の区と区民のグループの取り決めである「みどりと花いっぱい協定」で「NPOせたがや喜多見 農とみどり」が担当お世話をしている。

そして今年から規定が変わり「みどりと花いっぱい協定」のプランターに「野菜を植えてもよい」とのこととなり、2年前のテレビのニュースが思い出された。名古屋駅の植え込みに、植えられた夏野菜と、河村市長の鷹揚なコメントは記憶に新しい。

そしてその1年後の9月、名古屋駅前に、伝統野菜のPRというコンセプトで「あいちの伝統野菜」である「愛知本長茄子」がプランターで公式栽培されるという、奇跡のような出来ごとが起きた。お花に囲まれた高さのあるプランターは目立ち、伝統野菜の説明のプレートも置かれた。更に11月には、江戸時代から続く大高菜（おおだかな）などの伝統野菜5種が、同じ場所の沢山の人が訪れる名古屋の玄関口、名古屋駅前「花の環花だん」の中のお花に囲まれ、沢山の人を楽しませた。

それが世田谷にも波及し「みどりと花いっぱい協定」のプランターに野菜を植えてもよいということになったのであろうか。きっときっかけはなんでもよく、その先が全てにとって更によくなるよう考え進んだ結果、それは広がっていった、ということだろうか。

これはNPO「せたがや喜多見 農とみどり」の出番と、民家園の横断歩道横のプランターに野菜を植えた。今は3代目となる、どんさんが育ってくれた苗の、ほぼプロッコリーのアレッタ。プロッコリーの変種とケールの変種の掛け合わせだ。可愛らしい白いお花のスノーポールも共にある。

さて、元々ここ次大夫堀公園民家園のある、喜多見5丁目は、4丁目と共に、平成23年に創設された東京都の「農の風景育成地区制度」第1号として選定されている。これは、農のある風景を将来に引き継ぐことを目的としているものだ。

そして世田谷区では、喜多見4、5丁目を「世田谷・みどりのフィールドミュージアム」と名付け、地域全体（フィールド）を1つの博物館（ミュージアム）と捉え体験、学習の場と位置付けている。

野菜の畑が在ることのありがたさを想い、野菜のプランターで改めて野菜のお花も含めて野菜の成長を見守ってもらいたい。

2代目「オクラと花オクラ」は、下草にお茶花に使われている「星の雫と水引（草）」を。オクラの花は紫の花芯にクリーム色の花弁が優雅で、実った実は「そろそろしゅうかくできます どうぞ よろしかったらしゅうかくしてください」との張り紙に「ほっこりした」といってくださるワンちゃん連れの方もいて、こちらもほっこり。「オクラもらいました」「美味しいかった」の声も聞くことができた。これも苗を育てくれた、どんさんのおかげ。

初代もアレッタ。どんさんが子供食堂に提供している畑から運んでくれた、大きな大きな菜の花。線の桜と菜の花を、地元でみんなで見たいという夢が叶った。

新たな考え方の創造をすることの楽しさは尽きない。そんな楽しいプランター野菜をどんさんと共にづくり、4代目、5代目とずっと続していくことを心から願う！（原田光子）



最近の出来事 4/4

落ち葉ひろいリレー にごりや まとめ

11月になると世田谷みどり33協働会議の主催で区内の数十か所で落ち葉ひろいリレーが開催されています。NPO農とみどりは、酒や醤油などを売っていた『にごり屋』さんの屋敷の櫻(けやき)を担当、にごり屋は6回、それと慶元寺の落ち葉リレー焼き芋付きで締めていました。今年は暖かく、にごりやの最後の11/27になっても落ち葉が半分以上落ち切らないので12/4,11,18の3日を追加し、更に落ち葉リレーとは別の日でも、ボランティア自主参加での落ち葉掃きが出来るようにしました。

ところがこの開催期間の中程で、長く入院されていたご頭首（田中直子さん）が突如お亡くなりになってしまいました。病院から帰って来た直子さんがお通夜が行われる御寺に向かわれるとお聞きし、その際に少しでも気持ち良く、大切にされていたお庭をきれいにして差し上げ様と考え、皆さんにお声掛け、平日の朝7時にも関わらず沢山の方が駆けつけて下さいました。きれいになったお庭から直子さんはお寺に向かわれました。ご賛同いただきました皆さん、ありがとうございました。交友のあった方々から直子さんのために落ち葉掃きをして差し上げたいとの申し出もありました。この屋敷林は街の宝、大切に思う方が沢山おられます。多くの方に支えられて来年も、にごりやの落ち葉ひろいリレーは続いて行くようです。（磯谷）



落ち葉ひろいリレー 慶元寺 まとめ

毎年11～12月の喜多見地区での落ち葉ひろいリレーの最終日は、慶元寺で落ち葉焚き（焚火）をし、焼き芋を作ります。この焼き芋のお芋購入費用は、毎月のてづくり市場などの募金（焼き芋募金）で賄われております。皆様の善意のおかけです。集客は、慶元寺幼稚園でのチラシ配りや保育園へのチラシ配布、町会や区の掲示板にチラシ貼り出しなどで、諸々の準備の手間もあります。当日の10時から参加される親子の皆さんは、お寺の参道や、境内、駐車場の落ち葉を拾い集めて、焚き火に入れたり。焼き芋用の焚火と、子供が楽しむための焚火と2つに分けました。

令和の時代、落ち葉焚きをするご家庭も無くなり、焚き火の経験のない親子が、とても楽しそうにしています。落ち葉の山で遊んだり、焚き火に落ち葉を焼べる子どもたち、炎を眺める大人の姿がありました。焼かれた焼き芋を美味しそうに食べている皆さんの笑顔が見られると、このイベントをやって良かった！と、思うのでした。（笹）



連載「慶元寺のてづくり市場」

出展者様 の自己紹介(連載)です。
市場へ足をお運びの際には、出展ブースもお楽しみください！

出展名：大豆だいすき研究会

出展内容：江戸時代から続く喜多見の農地で無農薬無化学肥料で在来種にこだわる野菜たちをおしゃべり中心に販売しています。珍しい野菜を扱っていますので、いちいち説明がついてきます。期間限定で千葉県茂原産のお米を適正価格で販売中。このお米は、千葉県茂原の農家さんの元に何度も通い信頼を得た貴重なお米です。

その他：大豆だいすき研究会とは？

東日本大震災を経験したはらのまみこは、都市農業の大切さを知ります。自宅近所にある江戸時代からの農地を農家さんからお借りし、無農薬、無化学肥料の土づくり、栽培する品種は在来種を主として菜園を始める。野菜本来の味を多くの人と共に楽しみながら、コミュニケーションの場づくりができるなら、いざという時、何かの助けになるのではという希望のもと研究会を発足。

大豆は、畑のお肉であり栄養満点！保存も加工もなんでもあり！ 現在の活動は、お味噌作りのワークショップを開催中。今後は、在来種の大豆栽培を広げ、日本の伝統調味料だけでなく、大豆ミートなど幅広く伝えられる事が目標！

執筆者氏名：はらのまみこ



広報板（または掲示板、直売場など）に掲示されている市場のチラシ。スタッフが手分けして貼っています。



1月の市場のチラシ。チラシの内容は毎月少しずつ変わっています。

静かなる広報部隊、「市場のチラシ」

この記事を読んでいる方は、てづくり市場のチラシをご覧になったことがあるでしょうか？

毎月、運営メンバーが手分けして、世田谷区の広報板、町会の掲示板、農家さんの野菜直売場、運営メンバーの自宅など、街の様々な場所にてづくり市場のチラシを掲示しています。たまには、慶元寺幼稚園や近隣の方々に向けてチラシ配りをすることもあります。

私は、二子玉川駅の周辺の広報板を担当しています。二子玉川にも貼ろうと担当に手をあげたのは、バスターミナルには喜多見方面へのバス路線もあるので、喜多見方面の方へのアピールになるだろうと思ったためです。

二子玉川駅前の広報板は、バスの乗降客だけではなく、二子玉川にお住まいの方々はもちろんのこと、遠くからお買い物にいらっしゃる方の目にも入ると思います。その中で市場に足を運んでくださる方がどれだけいらっしゃるかはわかりませんが、私たちの活動のアピールにもなっているかと思います。「二子玉川駅の掲示板を見て来た」というお客様がいらしたことがありました、その時はとてもうれしかったです。素朴で味のあるチラシには、みなさまからいろいろなご意見もいただきますが、きらびやかなチラシが並ぶ今の時代に、このような素朴なチラシはかえって目を引き、興味を持って市場に来てくださる方もいるのでは？と、私は期待しています。ご自宅や近隣にチラシを掲示できるよ、という方、もしいらっしゃいましたら、市場の運営スタッフまでお声がけください。この市場の良さを、読者の皆さんと一緒に広めていけたらとても嬉しいです。（小堤）

農とみどり 予定

次の市場は **1/19** です。

1月予定

2025 1月						
SUN	MON	TUES	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5 NPO理事会	6	7	8	9	10	11 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
12	13	14	15	16	17	18 9時半 小澤農園
19 てづくり市場	20	21 15:30 野の花 マルシェ	22	23	24	25 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
26	27	28	29	30	31	1 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ

2月 予定

2025 2月						
SUN	MON	TUES	WED	THU	FRI	SAT
						1 NPO理事会
2	3	4	5	6	7	8 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
9	10	11	12	13	14	15 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
16	17	18	19	20	21	22 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
23	24	25	26	27	28	1 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ

「農とみどり」のオフィシャルサイト
スマホからは、QRコードから
簡単にアクセスできます。



2025 1/19(日)

2月はお休み

てづくり
市場

9:30~12:00@慶元寺駐車場

地元で採れたお野菜を販売します

お餅つき
します!!

お餅つき店
つきたてのお餅
はいかが?

どんシャボン玉
自由に遊べる!
おどろきの
ピッグサイズ

<出店>

採れたて野菜、てづくりプリン、小物、
リサイクル品、10分間ほぐしなど多数!!

※出店内容は変わる可能性があります。
※雨天延期予定です。

マイバックと一緒に!

お気軽に立ちよください

私たち、この地の烟を大切に考え、農の継続を願い、保育園行事や慶元寺での
野菜販売(市民の市場) /農に係る映画上映会/烟の手伝いなどを行っています

とみどりのオフィシャルサイト
本からは、QRコードから
アクセスできます。

主催 NPO 農とみどり
事務局(出竹・田島) : 090-6159-2693

<https://www.nou-midori.org/>

せたがや喜多見
農とみどり

~ みんなで行動! 街の“はたけ”の継続を願って行動 ~

ご不明な点や、ご意見ご希望はなんなりと、このメールアドレスにお願いします。

Copyright © 2023 せたがや喜多見農とみどり, All rights reserved.

メールアドレス: : info@nou-midori.org

喜多見4-9-7 世田谷区、東京都 157-0057